

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	熊本トヨタ自動車株式会社 八代店	階数	地上2F
建設地	熊本県八代市花園町8番6,7,8,9,10,11	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、準防火地域	平均居住人員	13人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,488時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 竣工	評価の実施日	2021年9月17日
敷地面積	2,929㎡	作成者	西岡
建築面積	2,122㎡	確認日	2021年9月17日
延床面積	2,359㎡	確認者	木境



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

重点事項総合評価

評価点 = 61

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 57.7	重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = #####
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 55.0	重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 72.0

重点事項の評価(レーダーチャート)

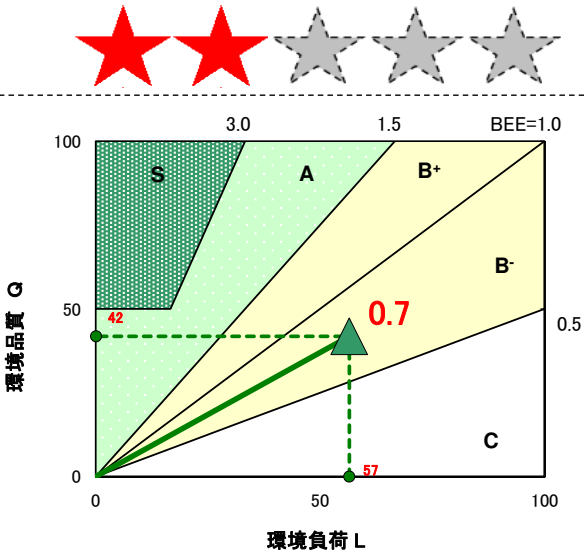
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	熊本トヨタ自動車株式会社 八代店	階数	地上2F		
建設地	熊本県八代市花園町8番6,7,8,9,10,11	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内、準防火地域	平均居住人員	13人		
気候区分	7地域	年間使用時間	2,488時間/年		
建物用途	事務所,物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2023年1月 竣工	評価の実施日	2021年9月17日		
敷地面積	2,929㎡	作成者	西岡		
建築面積	2,122㎡	確認日	2021年9月17日		
延床面積	2,359㎡	確認者	木境		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)




BEE = 0.7

■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率


96%

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



重点事項	評価点
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	57.7
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	63.7
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	55.0
【重点事項4】 循環型社会の実現	72.0

評価点

61

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

道路面からの圧迫感に配慮し、透明感を強調するため、縦型のカーテンウォールを採用。また、空地（上屋のみ）を極力設けた。

Q1 室内環境

- ・ F☆☆☆☆ 建材を使用。
- ・ 喫煙室以外全館禁煙とし、施設内の空気室環境に配慮。

Q2 サービス性能

- ・ 階高にゆとりを持たせ、建築自由度を高めた。
- ・ 設備系統はメンテナンスを考慮した計画とした。

Q3 室外環境（敷地内）

- ・ 吹抜の上屋を設けて暑熱環境に配慮した。

LR1 エネルギー

- ・ 照明器具はすべてLEDとした。

LR2 資源・マテリアル

- ・ 断熱材はすべてノンフロン。

LR3 敷地外環境

- ・ 適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、出入口付近での車両の軌跡検討を行い、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 熊本トヨタ自動車株式会社 八代店

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点		61
重点事項					評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進					57.7	0.40	23.08
Q1-2.1.2	外皮性能	2.0	0.05				
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05				
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05				
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	1.0	0.15				
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20				
LR1-3	設備システムの高効率化	2.2	0.30				
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10				
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10				
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現					63.7	0.20	12.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25				
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25				
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15				
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20				
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15				
③ 県の地域資源の有効活用と保全					55	0.20	11.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20				
LR2-1.1	節水	4.0	0.30				
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20				
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.30				
④ 循環型社会の実現					72	0.20	14.40
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30				
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30				
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10				
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15				

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

$$\text{総合評価点} = (\text{各重点事項の評価点} \times \text{各重点事項の重み係数}) \text{の総和}$$

※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

$$\text{評価点} = (\text{各重点項目のスコア} \times \text{各重点項目の重み係数}) \text{の総和} \times (5/4) \times 20$$

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20: スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

CASBEE-建築(新築)2016年版
熊本トヨタ自動車株式会社 八代店

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.6
Q1 室内環境							0.35			2.7
1 音環境						2.2	0.15			2.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40			
1.2 遮音						1.0	0.40			
1 開口部遮音性能						1.0	0.76			
2 界壁遮音性能						1.0	0.24			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音						3.0	0.20			
2 温熱環境						2.2	0.35			2.2
2.1 室温制御						2.7	0.50			
1 室温						3.0	0.43			
2 外皮性能						2.0	0.22			
3 ゾーン別制御性						3.0	0.36			
2.2 湿度制御						3.0	0.20			
2.3 空調方式						1.0	0.30			
3 光・視環境						3.2	0.25			3.2
3.1 昼光利用						3.7	0.38			
1 昼光率		【事務所】昼光率:6.3%				5.0	0.35			
2 方位別開口										
3 昼光利用設備						3.0	0.65			
3.2 グレア対策						3.0	0.18			
1 昼光制御						3.0	1.00			
3.3 照度						3.0	0.09			
3.4 照明制御						3.0	0.35			
4 空気質環境						3.3	0.25			3.3
4.1 発生源対策						4.0	0.50			
1 化学汚染物質		全てF☆☆☆☆とする				4.0	1.00			
4.2 換気						1.8	0.30			
1 換気量						3.0	0.40			
2 自然換気性能						1.0	0.20			
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.40			
4.3 運用管理						4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50			
2 喫煙の制御		全館禁煙 喫煙室の設置				5.0	0.50			
Q2 サービス性能							0.30			3.3
1 機能性						3.3	0.40			3.3
1.1 機能性・使いやすさ						2.6	0.40			
1 広さ・収納性						1.0	0.20			
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.20			
3 バリアフリー計画						3.0	0.61			
1.2 心理性・快適性						4.3	0.30			
1 広さ感・景観		【物販】平均天井高:4.3m 【事務所】2.7m				5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		【物販】売場面積の63.1% 【事務所】リフレッシュSPなし				5.0	0.33			
3 内装計画						3.0	0.33			
1.3 維持管理						3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		①ビニールクロス・メラミン化粧板 ②ビニル床タイル・ビニル床シート ③適度な水使用可 ④ホコリのたまりにくい設計 ⑥一室で異なる床材の使用なし ⑧水切りの設置 ⑩垂鉛めつき処理 ⑪極力段差のない設計				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30			3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上を使用、Eは不使用				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						3.2	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			
3 電気設備		①発電機あり②無停電電源装置 ④浸水の危険性はない				4.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			

	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.4	0.30	-	-	3.4
3.1	空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	【工場】8.0m 【物販】【事務所】3.7m	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	【工場】0.1≦0.11<0.3 【物販】0.1≦0.20<0.3 【事務所】0.1≦0.14	4.0	0.40	-	-	
3.2	荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3	設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	仮設スペースの確保可	4.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.35	-	-	2.0
1	生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	2.2
1	建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.10	-	-	1.0
2	自然エネルギー利用			3.0	0.11	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.95	2.2	0.56	-	-	2.2
4	効率的運用			2.5	0.23	-	-	2.5
	集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水コマ・節水型便器を使用している	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア・軽量鉄骨(LGS)	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
		1	消火剤	-	-	-	-	
		2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
		3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率:96%	3.1	0.33	-	-	3.1
2	地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
		1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
		2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
		1	騒音	3.0	1.00	-	-	
		2	振動	-	-	-	-	
		3	悪臭	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
		1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
		2	砂塵の抑制	-	-	-	-	
		3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
		2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	
			光害ガイドライン・広告物照明の取り扱いの過半を満足					